

---

# マルゼン 油圧パワーユニット

## U-130-2 型

---

### 取扱説明書



**注意**

当製品を安全に、また正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。

誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

**丸善工業株式会社**

## はじめに


この度は、マルゼン油圧パワーユニット U-130-2 型をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、安全かつ能率的にご使用をいただくための手引きとして、取扱い方法・使用上の注意事項及び点検整備方法について特に注意すべき事項を説明してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しい取扱いをして、最良の状態で安全な使用方法で操作してください。

本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

この取扱説明書は、機械の付近に保管し、機械を扱う全ての方が定期的に見るようにしてください。紛失または汚損された時は、速やかに当社または当社の販売店にご注文ください。

又、製品を貸与または譲渡される場合は、本取扱説明書を製品に添付して、熟読する様にお伝えください。なお、ご不明なことや、お気付きのことがございましたら、当社または当社販売店までご連絡ください。なお、部品交換の際には必ず純正部品をご使用くださるようお願い致します。

純正部品でないものをご使用になると機械の性能、耐久性などを著しく低下させる危険性がありますのでご注意願います。

 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。



### 危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



### 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



### 注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損害が生じるおそれのあるものを示します。

あらゆる環境下に於ける運転・点検・整備の全ての危険を予知する事は出来ません。

そのため、記載されている説明文は安全の全てを網羅したものではありません。

説明文にない運転・点検・整備を行う場合には、全て自分の責任において安全に対する必要な措置を取ってください。

## 目次

安全操作のための注意事項	2 ~ 3
安全標識の貼り付け位置	4
本製品の使用目的	5
本製品の名称と仕様	6
使用上・作業上の注意	7
使用方法	8 ~ 12
保守点検	13
異常の原因と処置	14 ~ 15
部品図・部品表	16 ~ 23
保証書	
安全操作説明確認カード	
安全操作説明確認（お客様控）	

## 安全標識の意味

	使用前に取り扱い説明書を読み理解してください。
	保護メガネを使用してください。
	耳栓を使用してください。
	防じんマスクを使用してください。
	ヘルメットを使用してください。
	手袋を使用してください。
	安全靴を使用してください。
	本体が高温になります。直接触らないでください。
	噴出した高圧油に直接触らないでください。
	火気を機械に近づけないでください。
	火気厳禁。燃料給油口付近に火を近づけると火災の危険があります。
	排気ガスに注意。室内や換気の悪い場所では使用しないでください。

## 安全操作のための注意事項

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や機械の破損事故をまねくおそれがあります。

——安全にご使用いただくために——

### 危険

#### 火気を近づけないでください。

- ・ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすことがあります。燃料補給をするときは必ずエンジンを停止して換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料を補給するときや燃料タンクの付近ではタバコを吸ったり炎や火花などの火気を近づけないでください。
- ・燃料をこぼさないように注意し、所定のレベルを超えないように補給し、燃料キャップを確実に締めてください。もし燃料がこぼれた場合は、きれいにふき取りよく乾かしてからエンジンを始動してください。

#### 【守らないと】

爆発や火災により死亡事故をまねくおそれがあります。

### 警告

#### 1. 作業に適した服装と安全保護具の着用

- ・作業に適した服装をしてください。
- ・作業する時は必ず下記の安全保護具を着用してください。
  - (1) ヘルメット・切断物の飛散破片、障害物からの頭部の保護
  - (2) 保護メガネ・・・切断物の飛散破片からの眼の保護
  - (3) 安全靴・・・ブレードによる障害や落下物からの足の保護
  - (4) 手袋・・・高温部による火傷や打撲障害からの保護
  - (5) 耳栓耳覆い・騒音障害からの保護
  - (6) 防じんマスク・・・粉塵からの保護

#### 【守らないと】

思わぬ障害事故をまねくおそれがあります。

#### 2. こんな時は作業をしないでください

- ・過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時
- ・酒を飲んだ時
- ・手・足・腰等身体に痛みやケガのある時

#### 【守らないと】

重大な事故をまねくおそれがあります。

#### 3. 高温になるので直接さわらないでください

- ・本機を使用していると油温が上昇して、機械が熱くなります。素手で触れたり、肌に接触させないでください。
- ・マフラーや排気ガス出口付近は高温になります。素手で触れたり、肌に接触させないでください。

#### 【守らないと】

火傷をするおそれがあります。



## 警告

### 4. 排気ガスに注意してください。

- ・ 風通しのよいところで使用してください。
- ・ 室内で使用するときは充分換気してください。

#### 【守らないと】

排気ガスによる中毒で、死亡事故にいたるおそれがあります。

### 5. 機械を他の人に貸す時は

- ・ 取り扱い方法をよく説明し、使用前に[取扱説明書]を必ず読み理解してから使うよう指導してください。

#### 【守らないと】

説明不足により重大な障害や機械の破損をまねくおそれがあります。



## 注意

### 1. 傾斜した場所で使わないでください。

本機を傾斜した場所で使わないでください。

#### 【守らないと】

重大な傷害や事故を起こすことがあります。

### 2. 設定流量に適合しないアタッチメントは使用しないでください。

#### 【守らないと】

重大な傷害や機械の破損をまねくおそれがあります。

### 3. 作業中に設定流量を変更しないでください。

- ・ 設定流量の変更時は切換えレバーを切換えてから行ってください。

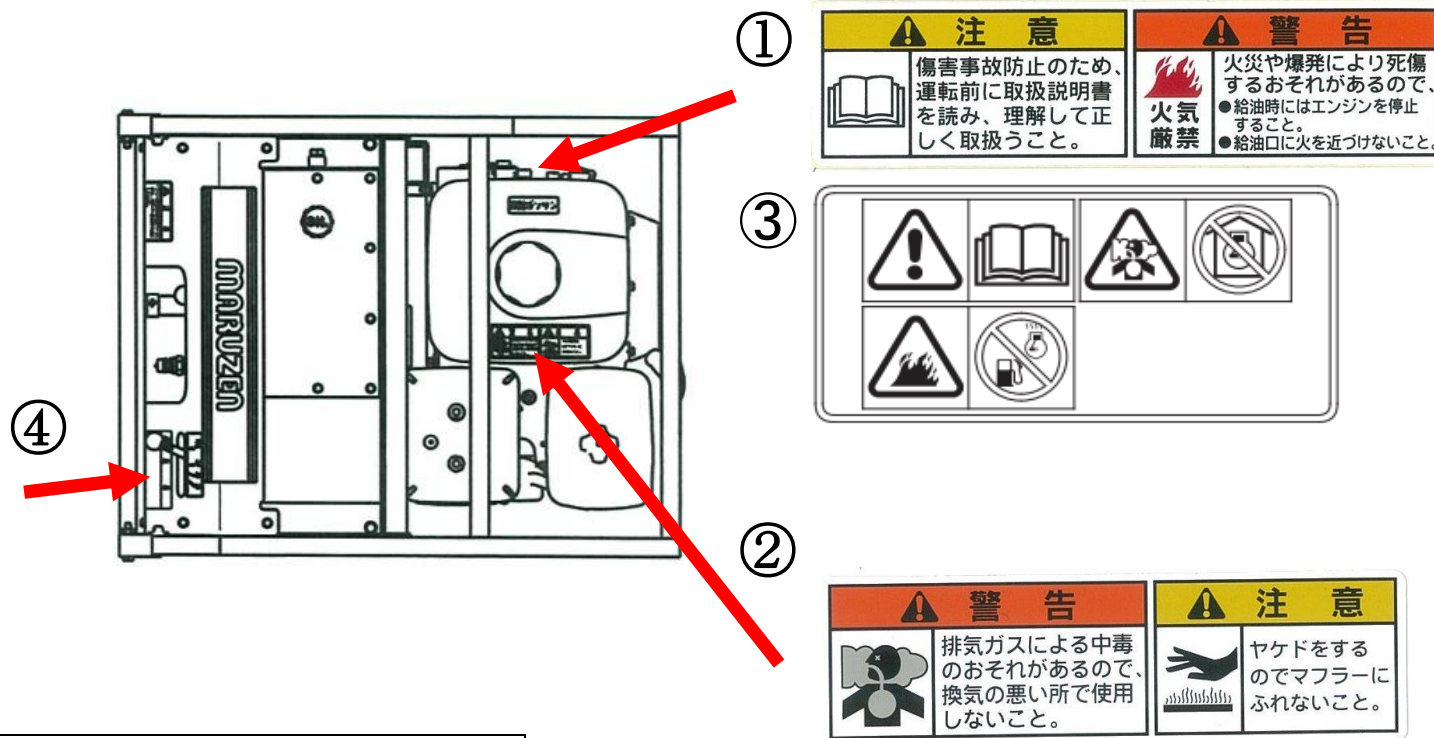
#### 【守らないと】

重大な傷害や機械の破損をまねくおそれがあります。

エンジン取扱説明書の注意事項もよくお読みください。

## 安全標識の貼付位置

安全に作業していただくために、安全標識の貼り付け位置を示したものです。安全標識は汚損のないように保ってください。もしも、はがれたり汚損した場合は新しいものに貼り直してください。安全標識の購入に際しては部品番号で当社または、当社の販売店にご注文ください。



No.	部品番号	部品名
①	87520-ZH8-000	マーク A,コンビネーション
②	87526-ZH8-000	マーク B,コンビネーション
③	87519-Z4H-000	MARK,OPERATOR CAUTION (PICTGRAPH)
④	MPL1Z121A	ラベル DH(注意)

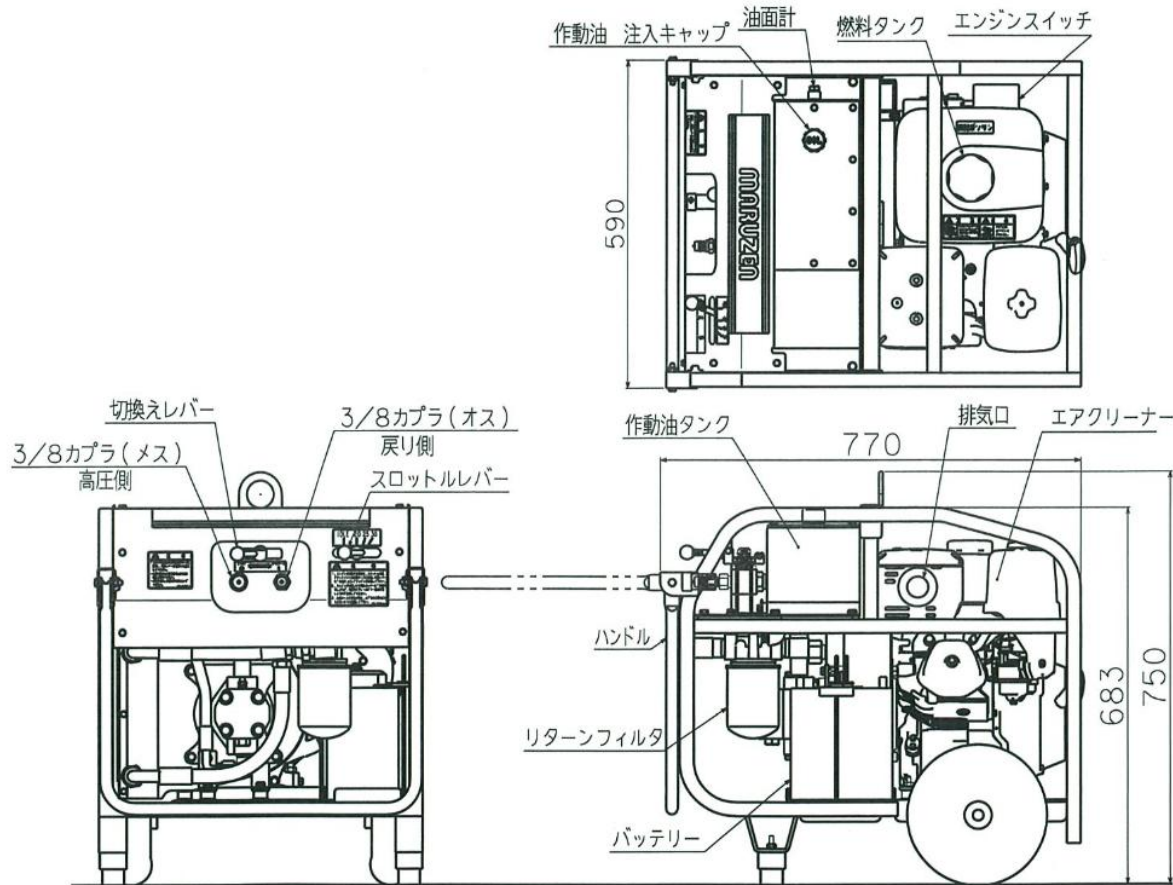
## 本製品の使用目的

1. 本製品は油圧アタッチメントの動力源として使用してください。
2. 本製品で油圧アタッチメントを使用する場合は、下記表に従った流量設定で使用してください。

流量設定	機種・型式	機種・型式
20 L/min	(1) 油圧ハンドブレーカー： BH-23K・RK型、BH-22型、BH-20EV・EVR型 BH-18K・RK型、BH-16VS型、BH-11E型、 BH-05B型、BH-7E型 (2) 油圧ハンドブレーカー(水中仕様)： BH-05BU型、BH-11U型、BH-22U型 (3) 油圧杭打機：KH-150-2型、KH-240V型、KH-800型 (4) 油圧コンクリートチェーンソー：MDC-300型 (5) 油圧コアカッター：DH190H-2型 (6) 油圧水中グラインダ：GH-180U型 (7) 油圧ロングリーチチェーンソー：PSH-190型、PSH-220型 (8) 油圧レシプロソー：HRS-400	(1) 油圧ハンドオーガ： OH-1、AY01H型 (2) 油圧ハンドカッター： CH-140-4型 (3) 油圧水中ポンプ：PH-300型 (4) 油圧ロックドリル：MHD-20B型
25 L/min	25L/min 仕様の他社製品	
30 L/min	30L/min 仕様の他社製品	

3. 下記のような場所又は方法では使用しないでください。
  - (1) 引火しやすいもの、燃えやすいものがある場所での使用
  - (2) 傾斜した場所での使用
  - (3) 地下、建物の内部等換気の悪い場所での使用
  - (4) 標高1,000m以上の高地での使用（当社または当社販売店にご相談ください）
  - (5) 使用目的以外の作業での使用

## 本製品の名称と仕様



U-130-2 仕様	
外形寸法	L 770 mm × W 590 mm × H 750 mm
乾燥質量	102 kg
最高圧力	15 MPa
油流量	20・25・30 L/min (3段階切替え式)
エンジン	ホンダ GX390
・最大出力	8.7kW (3600rpm 時)
・スパークプラグ	BPR6ES(NGK)、W20EPR-U(DENSO)
・燃料タンク容量	6.1 L
・使用燃料	自動車用無鉛レギュラーガソリン
・エンジンオイル容量	1.1 L
・使用エンジンオイル	HONDA 純正ウルトラ-U 汎用(10W-30) または API 分類 SE 級以上の SAE10W-30
エンジン始動方法	セル・リコイルスタート
バッテリー	12V 24Ah 以上
作動油タンク容量	8 L
推奨作動油	ISO VG32 又は VG46 耐摩耗性作動油
油圧取出口	3/8 インチ カプラ
標準接続ホース	20、25 L/min → 3/8 インチ 10mホース
	30 L/min → 1/2 インチ 10mホース
その他	流量切替え用スロットルレバー装備 強制空冷オイルクーラ装備

## 使用上・作業上の注意

1. 本機を傾斜した場所では使わないでください。
2. ホースの接続、切り離し時はごみ、ほこり、泥などが付着しないように十分に注意してください。
3. 空の延長ホースを接続後は作動油タンク内の作動油が減るので作動油量を確認してください。
4. 寒冷地で作動油温度が低い時は+10℃くらいになるまで暖気運転をしてください。
5. マフラーの排気口の付近に燃えやすいものや引火するおそれのあるものがないことを確認してください。
6. エンジンに関する調整方法や、格納時の処置についてはエンジンの取扱説明書に従ってください。
7. 作業中にホースが破損し、油が噴出した時は速やかにエンジンを停止させてください。
8. 作業中に設定流量の変更を行わないでください。アタッチメントの挙動が変り、事故につながる恐れがあります。
9. 設定流量の変更は機械前面にあるスロットルレバーにて行ってください。エンジン本体のコントロールレバーでは行わないでください。
10. ホースの接続や切り離しを行うと少量の作動油が漏れます。油で周囲を汚さないように気をつけてください。  
また、始動時には作動油の量を点検し、不足している時は補充してください。
11. 本機を1ヶ月以上格納する時は、エンジンのガソリンを完全に抜取ってください。(燃料タンク内のガソリンを抜き取り、その後、経路内のガソリンがなくなって停止するまでエンジンを動かしてください。また、全体のごみ、泥等を取り除き清掃してください。)
12. 本機を1ヶ月以上格納する時は、バッテリーのコードを外してください。  
[注：取り外す時は“-”(マイナス)側を先に外し、接続する時は“+”(プラス)側から先に取り付けます。]
13. 長期格納後、またはガス欠後のエンジン再始動時には燃料を満タンに注入してください。(注入量が少ないと燃料ホース内にエアが残り燃料が流れなくなるため、エンジンが始動困難になる可能性があります。)
14. バッテリーの取扱い上の注意
  - 1) バッテリー液は希硫酸です。取扱いには十分注意してください。手や衣服に着いた時は、すぐ多量の水で洗淨してください。眼に入ったときは流水で15分間洗眼した後、医師の手当を受けてください。
  - 2) バッテリーの“+”と“-”の極性は正しく接続してください。極性を逆にすると故障することがあります。
  - 3) バッテリーの“+”側端子はコード接続後、カバーを確実にかぶせてください。
15. アタッチメントの仕様に合った流量でご使用してください。

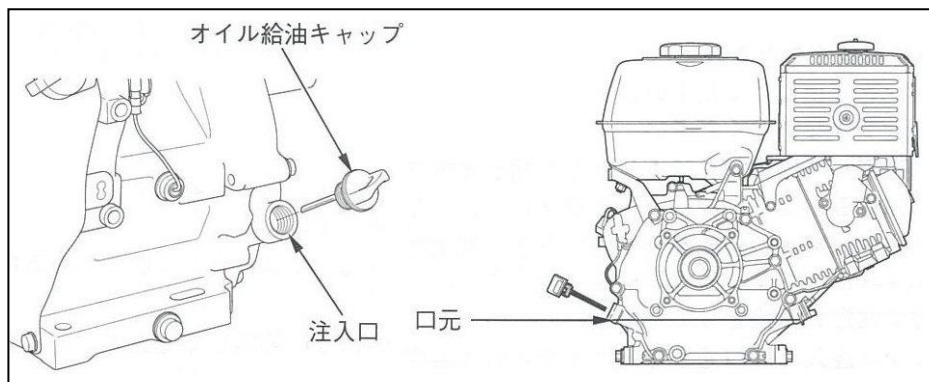
エンジン取扱説明書の詳細、点検項目もよくお読みください。

# 使用方法

## 1. ご使用前に

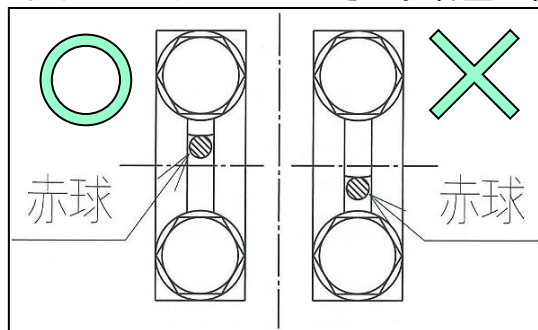
### (1) エンジンオイルの確認

エンジンオイルの量をオイルゲージで確認してください。本エンジンはオイルアラート付仕様のため不足すると自動的に停止します。不足している時は、自動車用エンジンオイル SAE10W-30 を規定量になるまで注入してください。容量は 1.1L です。



### (2) 作動油の確認

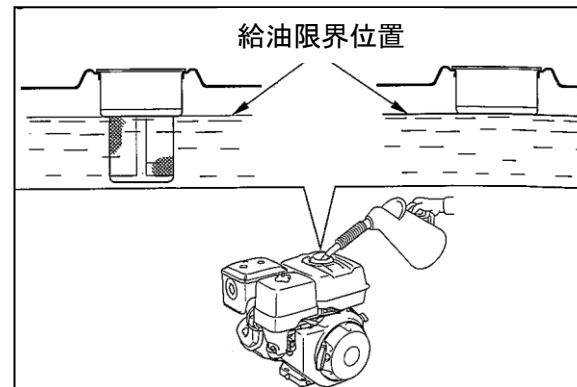
作動油タンクの油面計で油量を確認し、不足している時は ISO VG32 又は 46 相当の粘度の耐摩耗性作動油を用意し、作動油タンク上面の注入キャップをはずして油面が油面計の中央の高さ以上になるまで注入してください。容量は約 8L です。



(3) エンジンのエアクリーナエレメントの汚れを清掃してください。

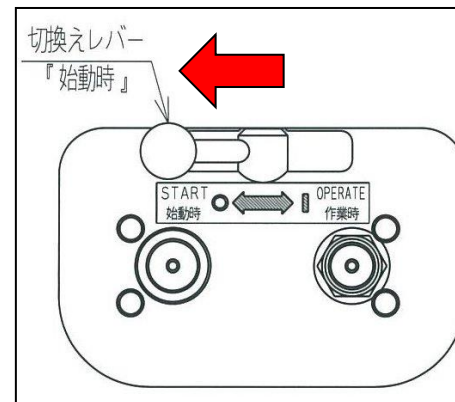
### (4) 燃料の注入

エンジンの燃料タンクに自動車用無鉛ガソリンを注入してください。容量は約 6.1L です。**燃料は入れすぎないでください。**燃料がこぼれたら、きれいにふき取ってください。



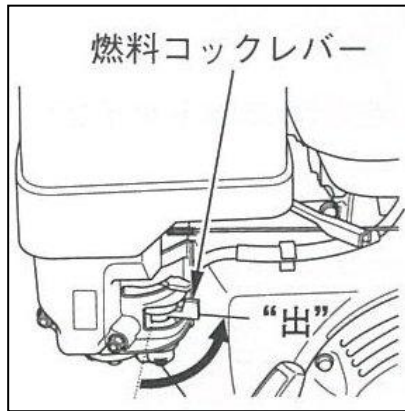
## 2. エンジンの始動

(1) エンジンの始動操作をする前に油圧パワーユニットのホースを油圧アタッチメントのホースに接続してください。ホースを接続しない状態ではエンジンを始動しないでください。また切換えレバーを必ず“始動時” (START) 側になるように切換えてください。



## (2) 始動操作

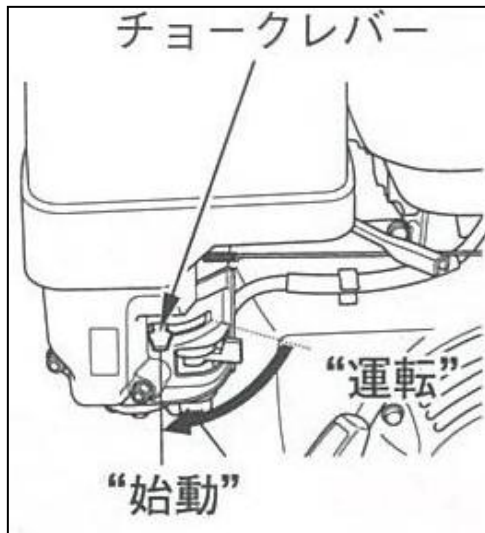
①燃料コックレバーを“出”の位置に合わせます。



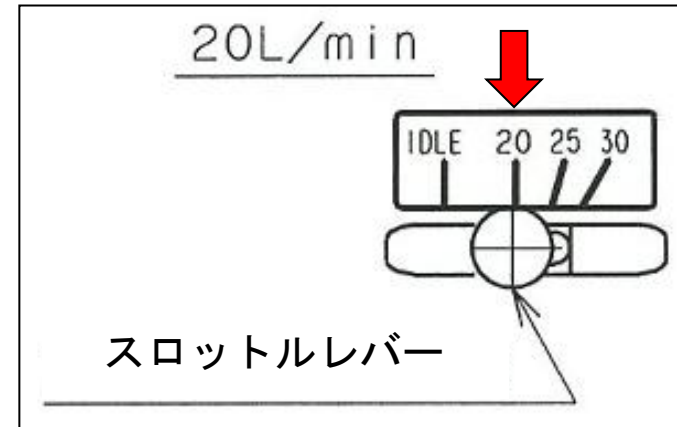
②チョークレバーを“始動”の位置にします。

### 【チョークの位置】

- ・寒い時やエンジンが冷えている時は“始動”の位置にします。
- ・暖かい時や運転停止直後に再始動する場合は“運転”もしくは“始動”と“運転”の中間位置にしてください。

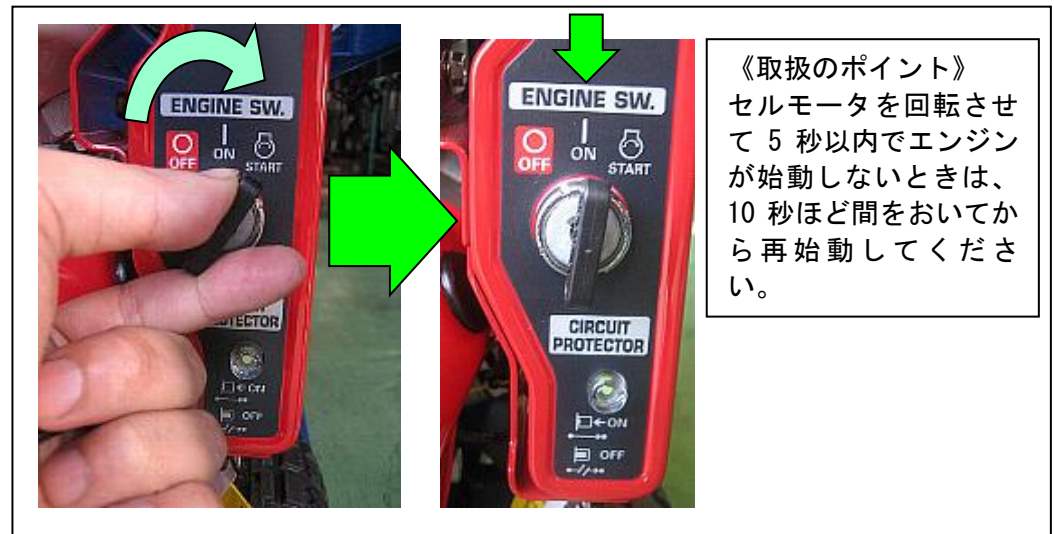


③スロットルレバーを“IDLE”から“20”の位置にします。



## ④-1 セルスタート

エンジンスイッチを“START”ポジションまで回しセルモータを回転させてエンジンを始動させます。エンジンが始動したらエンジンスイッチを“ON”の位置に戻します。



## 【補足】CIRCUIT PROTECTOR(サーキットプロテクタ)について



サーキットプロテクタはバッテリーの充電回路を保護するものです。電気回路上で何か問題が発生すると緑色のインジケータが飛びだしてサーキットプロテクタがオフになったことを示し、エンジンが始動できなくなります。

電気回路上の問題とは、主に短絡(ショート)、バッテリーのプラスマイナスを逆に接続等になります。

このような場合は問題の原因を突き止め修正してください。

修正後ボタンを押してリセットします。

そのため通常は『ON』(緑のインジゲーターが奥にある)状態が正常で、問題がなければ始動時に押す必要もありません。

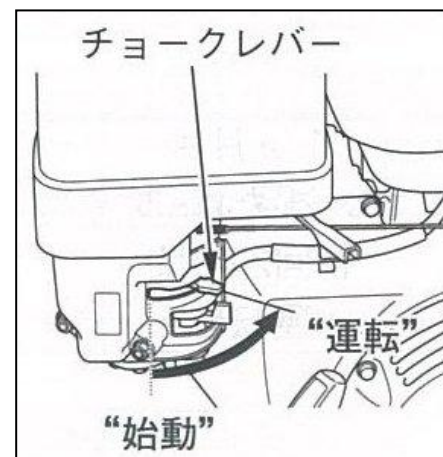
## ④-2 リコイルスタート

エンジンスイッチを“ON”の位置にします。始動グリップをゆっくり引いていき重くなる所(圧縮点)で止めます。次に矢印方向に強く引っ張ります。始動グリップを引いたまま手を放さないでください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。また運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。



(3) エンジンが始動したらチョークレバーを“始動”から“運転”に開きます。

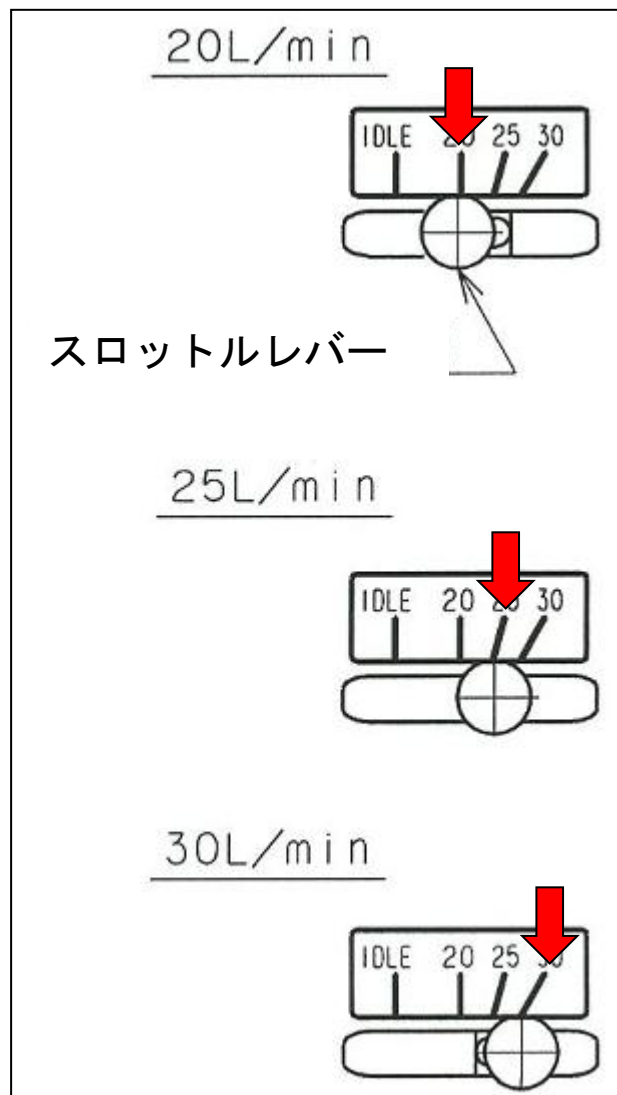
- ・チョークレバーはエンジンの調子を見ながら徐々に開き、最後に必ず全開にしてください。
- ・寒い時または、エンジンが冷えている時、急にチョークレバーを開くと、エンジンが停止する事があります。ご注意ください。



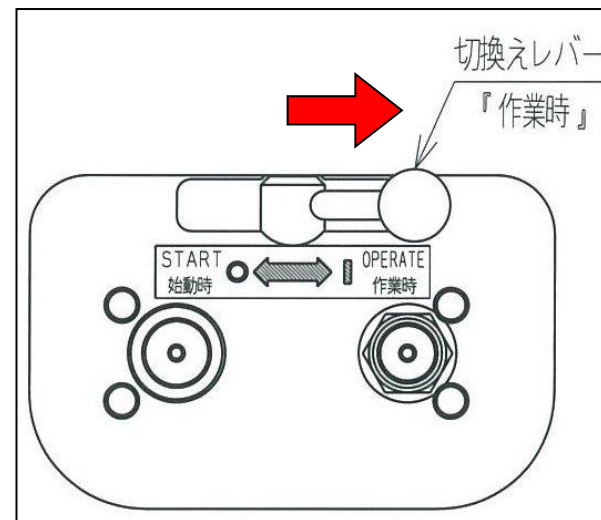
### 3. 運転、作業

(1) スロットルレバーを設定流量の位置に動かします。

切換レバーを下図の位置になるよう切り換えます。



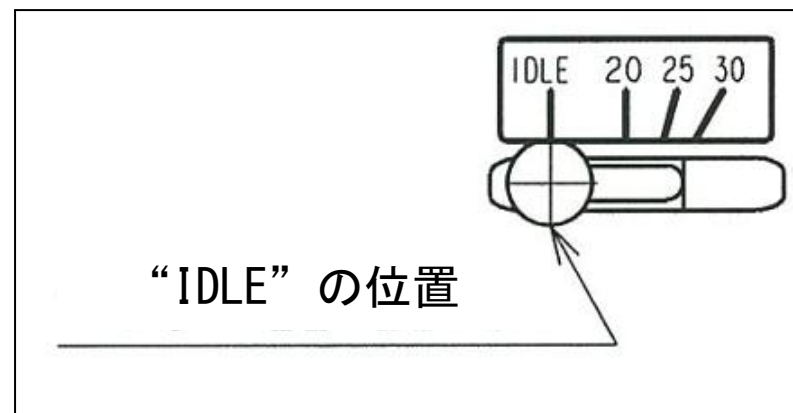
(2) 切換えレバーを“作業時”(OPERATE)側になるよう切換えます。



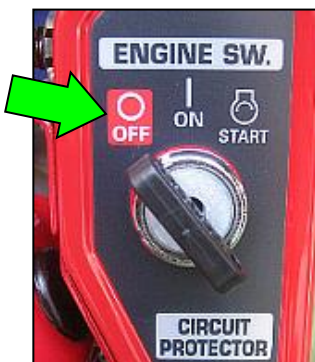
(3) 油圧アタッチメントを使用します。各油圧アタッチメントの操作は各々の取扱説明書に従ってください。

### 4. 停止

(1) スロットルレバーを“IDLE”の位置にして低速で1~2分位運転します。



(2) エンジンスイッチを“OFF”の位置にします。

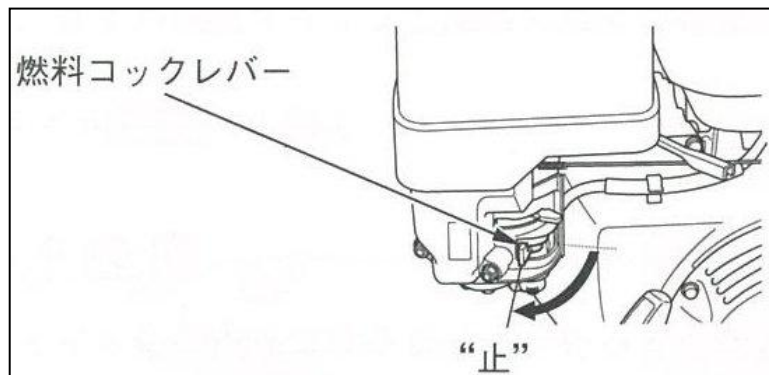


(4) 油圧アタッチメント(ブレーカ等)のホースを切り離し、ホースのカプラを互いに接続しておきます。

**!** 注意

作業により、油圧アタッチメント(ブレーカ等)のホースや工具、油圧パワーユニットの各部が高温になっています。必ず手袋を着用してください。

(3) 燃料コックレバーを“止”の位置に合わせ閉じます。



**!** 注意

燃料コックを閉じておかないと、運搬時の傾斜角度によっては燃料タンク内の燃料がクランクケースに流れ込む恐れがあります。使用後は必ず閉じてください。

## 保守点検

### 1. 日常点検

- (1) エンジンオイルの量は毎日始動前に点検してください。
- (2) 作動油の量は油面計の中間位の油面を保つよう、適時、作動油を補充してください。(推奨作動油 ISO VG32 又は 46)

#### 【作動油：例】

スーパーハイランド 32 (ENEOS)

シェルテラス S2 M32 (シェル)

コスモハイドロ AW32 (コスモ)

- (3) 使用前にエンジンのエアクリーナエレメントの汚れを清掃してください。
- (4) 油圧ホースやポンプの付近に油漏れがないか点検し必要に応じホース金具やボルトを増締めしてください。
- (5) エンジンを始動後、低速で運転し異常な振動や音がないか点検してください。
- (6) ブレーカ等との接続用の油圧ホースは全長にわたって点検し深い傷やつぶれのために油漏れの恐れのあるものは交換してください。

### 2. 定期点検

油圧パワーユニットを常に良好な状態に保つため、次の表に従って必ず保守点検を実施してください。

項目 \ 時間	3ヶ月毎 または 50時間	6ヶ月毎 または 100時間	1年毎 または 200時間
エンジンオイルの交換	○(1)		
エアクリーナの清掃	○		
点火プラグの清掃	○		
作動油の交換		○(2)	
ラジエータの清掃		○(3)	
燃料ストレーナの清掃			○
サクションフィルターの清掃			○(4)
カードリッジフィルターの交換			○
作動油タンクの清掃			○
バッテリーの電圧確認	1ヶ月に1~2回 (5)		

- (1) 初回 20 時間
- (2) 作動油はオイルタンクの底のドレン口から抜き取ります。作動油が白くにごっていたり、焦げ臭いようなにおいがついて変色している時は同じ銘柄の作動油と交換してください。
- (3) ラジエータは外側からエアで吹きゴミ、ホコリを吹きとばします。
- (4) サクションフィルターはガソリンまたは洗油で洗浄します。
- (5) バッテリー電圧の正常範囲の目安 12~13.5V。12V 以下の時は充電してください。また、バッテリーは使用中にその容量が徐々に低下し寿命となります。補充電をしてもセルスタートでの始動が困難な場合は新品に交換してください。

## 異常の原因と処置

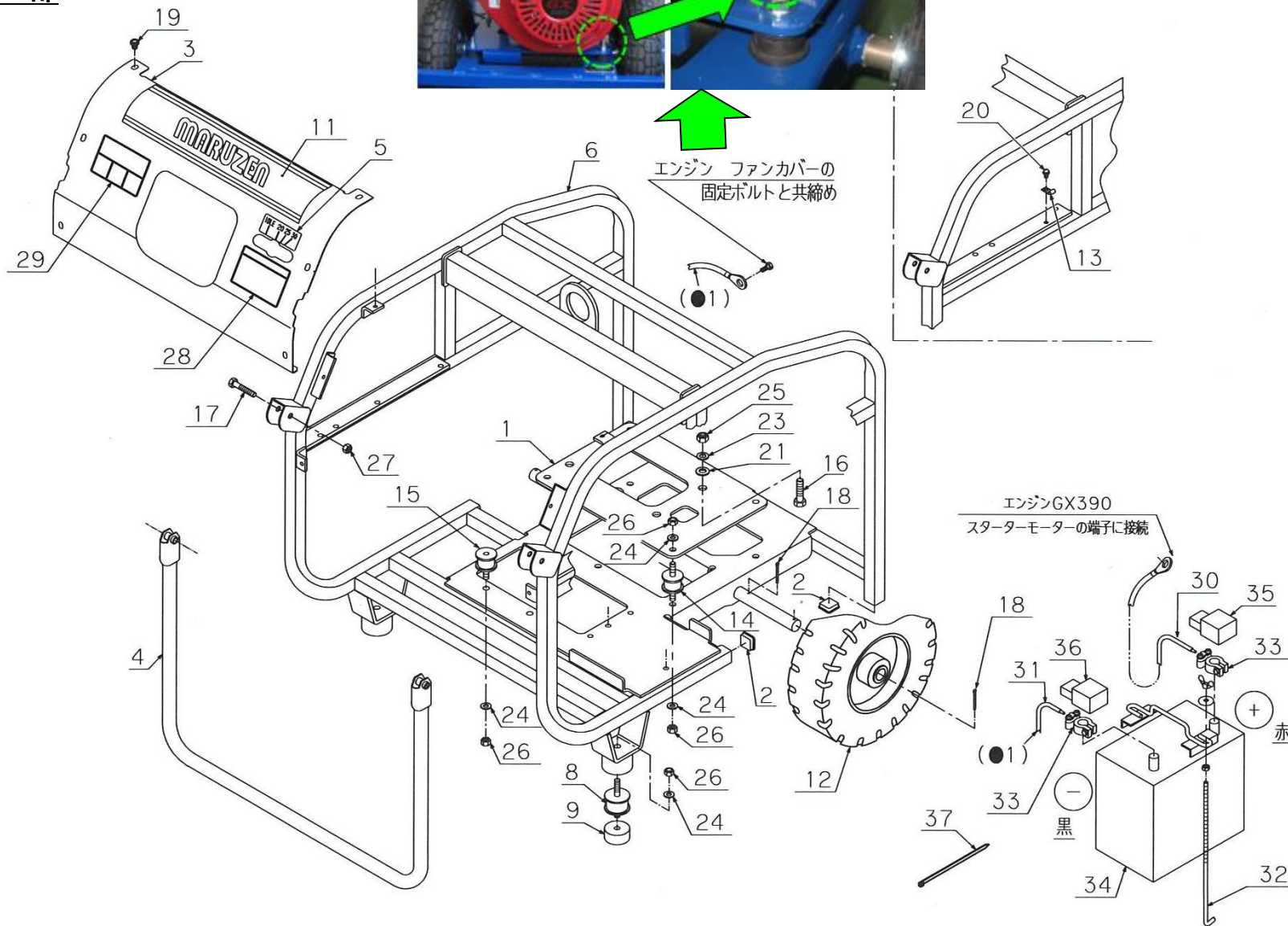
★印については当社または当社サービスセンターへ依頼してください

異常現象	主な原因	処置
1. エンジンが始動しない	1. 燃料の不足 2. 燃料の不良 3. 燃料ホース内にエアが残り、燃料が流れなくなり、キャブレータまで届いていない(ガス欠、長期格納後等) 4. 点火プラグの不良 5. キャブレータの目づまり 6. 燃料コックが閉になっている 7. チョーク全閉でのリコイルスタート繰り返しによるスパークプラグの燃料かぶり 8. 点火系統の不良 9. 燃料フィルタの目づまり 10. エンジンスイッチが“OFF”になっている 11. エンジンスイッチの損傷またはコードの外れ、損傷 12. エアクリーナの目づまり 13. エンジンオイル量の不足(オイルアラートが作動)	1. 燃料の注入 2. 燃料の交換 3. 燃料を満タンに注入するまたは燃料コックのカップを外してエアを抜く 4. 清掃または交換 5. 分解清掃する 6. 燃料コックを開にする 7. 燃料コックを閉じて、数回始動グリップを引く ★8. 点検、修理 9. 清掃する 10. “START”にする ★11. 点検または交換する 12. 清掃する 13. エンジンオイルを補充する
2. リコイルスターターが重い	1. ホースが接続されていない 2. エンジンオイル不足による焼きつき 3. カプラの故障 4. 切換レバーが“始動時”の位置になっていない	1. 油圧アタッチメントと接続する ★2. 分解、修理 3. 点検し、不良の場合は交換する 4. レバーを切換える
3. エンジン回転が上がらない	1. チョークを戻していない 2. 燃料不足 3. 燃料配管の目づまり 4. エアクリーナの目づまり 5. スロットルワイヤーのたるみ、破損	1. チョークを戻す 2. 燃料注入 ★3. 清掃する 4. 清掃する ★5. 調整、交換

異常現象	主な原因	処置
4. 油圧アタッチメントが作動しない、または力が出ない	1. アタッチメントの故障 2. アタッチメント仕様 不適合 3. 作動油の不足 4. 作動油の劣化 5. ポンプのリリーフ弁圧力の低下 6. ポンプの摩耗による能力の低下 7. カプラの故障 8. 切換レバーが“始動時”の位置になっている	★1. (アタッチメントの)点検、修理 2. 適合したアタッチメントを使用 3. 作動油を補充する 4. 作動油を交換する ★5. リリーフ弁圧力を調整する ★6. ポンプを交換する 7. 交換する。 8. 切換レバーを“作業時”に切替える
5. 油温が異常に上がる (90℃以上)	1. ラジエータの目づまり 2. シロッコファンの目づまり	1. 清掃する 2. 清掃する
6. 配管からの油漏れ	1. ホース金具、ホースバンドのゆるみ 2. ホースの破損	1. 増し締めする 2. 交換する
7. エンジンスイッチをOFFにしてもエンジンが停止しない	1. スイッチコード、アース回路の断線、接触不良	★1. 点検、修理
8. エンジンが停止する	1. 過負荷 (リリーフ弁が作動している状態での連続使用) 2. 燃料切れ 3. エンジン点火システムの故障 4. エンジンオイルが不足(オイルアラートが作動)	1. 負荷の軽減 連続負荷を止める 2. 燃料の注入 ★3. 点検、修理 4. エンジンオイルを補充する
9. セルモータが回らない	1. 切換レバーが“作業時”の位置になっている 2. エンジンオイル量不足 3. バッテリーの放電 4. 電気回路の断線	★1. 切換レバーを“始動時”に切替える 2. エンジンオイルを補充する 3. バッテリー充電または交換 ★4. 点検、修理する
10. バッテリーが充電されない	1. エンジン内部の電気回路の故障 2. バッテリーの完全放電	★1. 点検、修理する ★2. バッテリー交換

部品図・部品表

1. フレーム部



## 1. フレーム部

No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU14Z037A	エンジンベース	1	23	WS-10	ザガネ	4
2	106-11307	平角中栓J 黒	4	24	WS-8	ザガネ	12
3	MU14X063A	フロントパネル(B)	1	25	N1-10	ナット	4
4	MU14Y026A	ハンドル	1	26	N1-8	ナット	12
5	MU14Z041A	スロットルラベル	1	27	NU-8	Uナット	2
6	MU14W062A	フレーム(B)	1	28	MPL1Z077A	ラベルCB(注意)	1
7	—	—	—	29	MPL1Z062A	ラベルBN(注意)	1
8	KA-40	防振ゴム	2	30	MU14Z059A	バッテリーコード	1
9	MU14Z032A	前足	2	31	U14Z060A	アースコード	1
10	—	—	—	32	No.8860	バッテリーフレーム	1
11	MU08Z032A	マルゼンシール (紺)	1	33	No.8851	バッテリーターミナル	2
12	Solid Rubber wheel (10")	タイヤ	2	34	40B19L	バッテリー(12V24Ah)	1
13	COPS3-20P	ケーブルクリップ(スチール製)	1	35	No.8857	バッテリーターミナルカバー赤	1
14	KA-30	防振ゴム	4	36	No.8857	バッテリーターミナルカバー黒	1
15	RA-30	防振ゴム	2	37	200L	バインダー	3
16	B-10×45	ボルト	4				
17	B-8×45(11T)	ボルト	2				
18	PS-3.2×30	ピン	4				
19	BG-6×8	ボルト	6				
20	SR-5×10(3P)ユニクロ	小ねじ	1				
21	WP-10	ザガネ	4				
22	—	—	—				

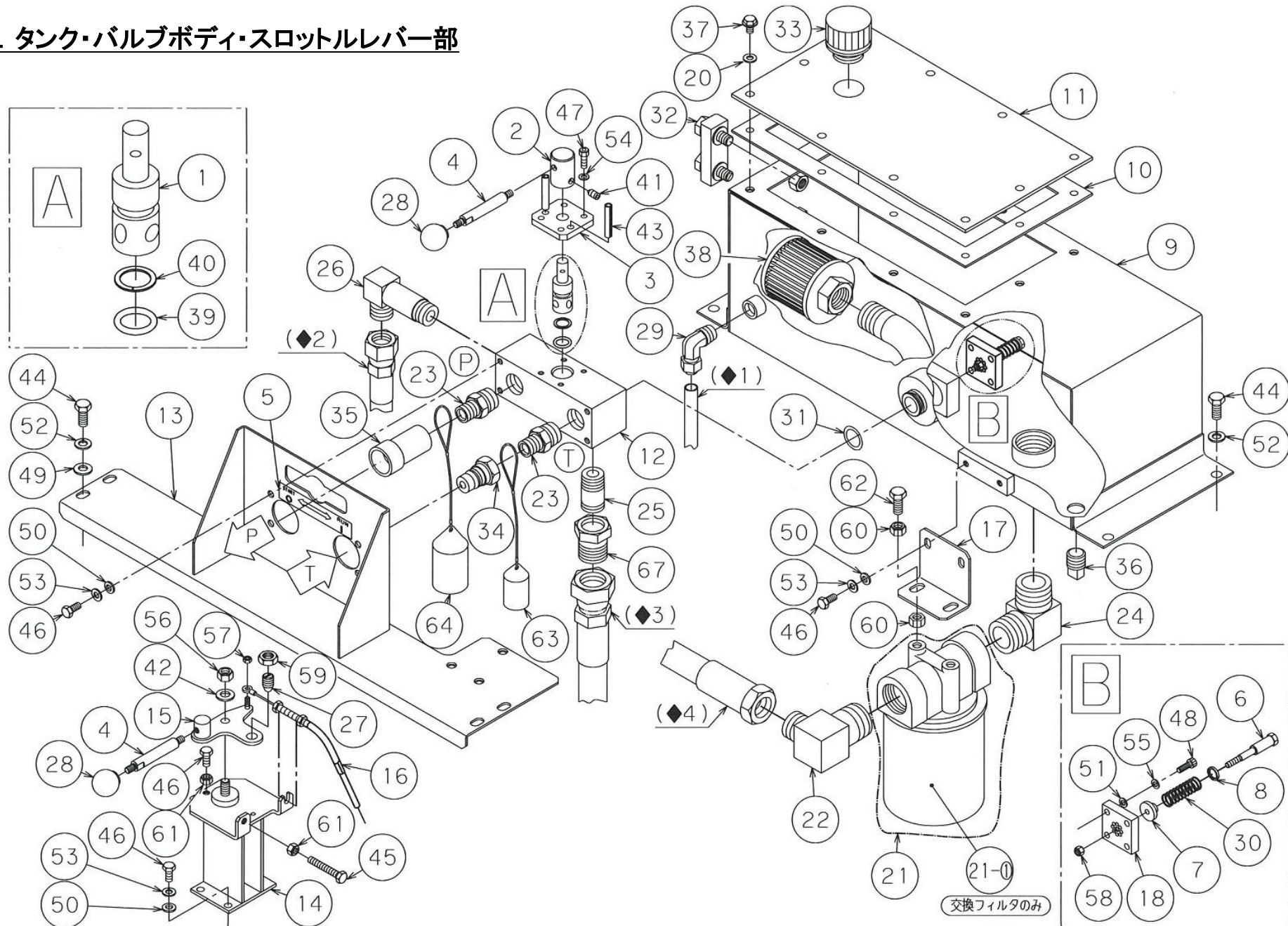


## 2. ポンプ部

No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU14Z005A	ポンプフランジ(MAR)	1	24	SS-12	ホースバンド	2
2	MU14Z046A	カップリング(MAR)	1	25	OP-24	Oリング	1
3	MU14Z045A	カップリング(GX390)	1	26	OP-22	Oリング	1
4	MU07Z034A	ハブ	1	27	SH-6×8くぼみ先(クロメート)	トメネジ 1342J	3
5	MU14Z007A	取付板	1	28	N2-4-10×8 L=330	ナイロンチューブ	1
6	MU14Z009A	デリバリフランジ(φ20)	1	29	B-10×40	ボルト	2
7	MU14Z010A	パッキン(A)	2	30	B-8×20	ボルト	14
8	MU14Z014A	防振ゴムブラケット	2	31	B-8×16	ボルト	2
9	MU14Y065A	ファンケース(A)	1	32	B-6×10(2P)	ボルト	6
10	MU14Y066B	ラジエータカバー(A)	1	33	BH-6×40	ボルト	4
11	MU14Z027A	サクシヨンフランジ	1	34	BH-6×35	ボルト	4
12	MU14Z057A	サクシヨンホース(A)	1	35	WP-10	ザガネ	2
13	R3NSZ022A	RADIATER	1	36	WP-8	ザガネ	6
14	MU07Z005A	スタッドボルト	4	37	WP-6	ザガネ	10
15	MU07Z007A	パッキン(A)	1	38	WS-10	ザガネ	6
16	MU07Z008A	パッキン(B)	1	39	WS-8	ザガネ	12
17	MU14Z001A	FAN(溶接追加)	1	40	WS-6	ザガネ	14
18	MU14Z087A	ポンプ	1	41	N1-10	ナット	2
19	17126・8--34--	ホース 60 N・m	1	42	90741-805-000	キー	1
20	03196・8--48--	ホース ⑬側 40 N・m ⑯側 110 N・m	1	43	MU14Z031A	ファンガード	1
21	03196・7--42--	ホース ⑬側 40 N・m ⑳側 110 N・m	1	44	B-6×10(2P)	ボルト	2
22	N-1034-08	アダプタ	2	—	—	—	—
23	L4N10×8-PT3/8	エルボ	1	—	—	—	—

スリーボンド製嫌気性封着剤 1342J

### 3. タンク・バルブボディ・スロットルレバー部



### 3-1. タンク・バルブボディ・スロットルレバー部

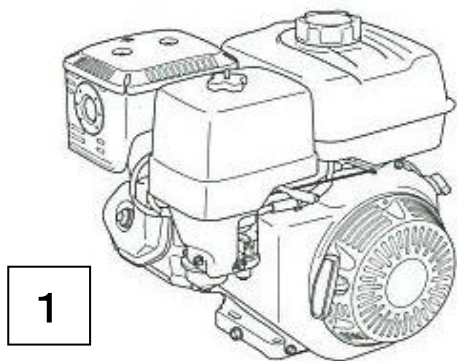
No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU14Z008A	ロータリー	1	23	N-2083-06-08	アダプタ	2
2	MU14Z011A	キャップ	1	24	N-2086-16	アダプタ	1
3	MU14Z012A	プレート	1	25	N-1007-08-12	アダプタ	1
4	MU14Z013A	レバー 1305N	2	26	N-9034-08	アダプタ 60 N・m	1
5	MU14Z042A	操作ラベル	1	27	PBF-10	ミニボールプランジャ	1
6	MU14Z015A	シャフト	1	28	BB-25×6-B	プラスチックボール	2
7	MU14Z016A	バイパスバルブ(B)	1	29	L4N10×8-PT1/4	エルボ	1
8	MU14Z017A	ザガネ(バイパス)	1	30	11-1344	スプリング	1
9	MU14Y070A	タンク(A)	1	31	OP-20(1B)	Oリング	1
10	MU14Z054A	タンクパッキン(A)	1	32	KLA-40A-C	オイルゲージ(M10フロート赤) 15 N・m	1
11	MU14Z055A	タンクフタ(A)	1	33	BM-3/4	ブリーザキャップ	1
12	MU14Z020B	バルブボディ	1	34	QC-03M	カプラ(オス) 60 N・m	1
13	MU14Y064A	バルブボディブラケット(B)	1	35	QC-03F	カプラ(メス) 60 N・m	1
14	MU14Y022A	スロットルベース GX390	1	36	3/8 プラグ	鋳鉄製管継手	1
15	MU14Z023A	スロットルレバー	1	37	BG-6×15	ボルト 6 N・m	10
16	MU14Z024A	コントロールケーブル	1	38	SFT-06	サクシヨンフィルター	1
17	MU14Z053A	フィルターブラケット(C)	1	39	OP-14	O リング	1
18	MU14Z029A	バイパスフランジ	1	40	OBP-14	バックアップリング	1
19	—	—	—	41	SH-6×8 とがり先	トメネジ	1
20	1240-404	φ6 ワッシャ	10	42	WF-8	ザガネ	1
21	CP-08-132	低圧回路スピンドルフィルター	1	43	PR-6×35	ピン	2
21-①	CP132	交換用カードリッジ	(1)	44	B-8×20	ボルト	10
22	N-1034-16-12	アダプタ	1	45	B-6×45 全ねじ	ボルト	1

スリーボンド製嫌気性封着剤 1305N

### 3-2. タンク・バルブボディ・スロットルレバー部

No.	部品番号	部品名称	数量
46	B-6×15	ボルト	8
47	BH-5×15	ボルト	4
48	BH-4×15	ボルト	4
49	WP-8	ザガネ	4
50	WP-6	ザガネ	9
51	WP-4	ザガネ	4
52	WS-8	ザガネ	10
53	WS-6	ザガネ	8
54	WS-5	ザガネ	4
55	WS-4	ザガネ	4
56	NN-8	ナイロンナット	1
57	NN-4	ナイロンナット	1
58	NU-5	Uナット	1
59	N1-10	ナット	1
60	N1-8	ナット	4
61	N1-6	ナット	2
62	B-8×30	ボルト	2
63	—	—	—
64	—	—	—
65	—	—	—
66	—	—	—
67	N-2084-08-65A	アダプタ	1

## 4. エンジン



No.	部品番号	部品名称	数量
1	GX390UT2 SXE4	エンジン	1
2	16594-883-010	ホルダーワイヤー	1
3	E-5	E 形止め輪	1
4	SR-4 × 6 (Ucr)	小ネジ	1

